

トカラ列島中之島・小宝島の昆虫（2017年）

金井 賢一¹・守山 泰司²

Insects Collected on Nakano-shima and Kodakara-jima (Tokara Islands) in 2017

Kenichi KANAI¹ and Taiji MORIYAMA²

キーワード：分布，南限，昆虫保護条例，食餌植物

はじめに

筆者らは継続してトカラ列島の昆虫を調査しており，その成果は鹿児島県立博物館研究報告に報告してきた（例えば 守山・金井，2017）。2017年も調査を複数回計画したが，天候不順などにより以下に示す2回しか調査できなかった。その結果を報告する。

小宝島在住の岩下秀行氏には，島内を案内していただき，また貴重な情報を頂いた。十島村には，調査にあたり昆虫採取・捕獲の許可を頂いた。お礼申し上げます。

I. 中之島

1. 調査日程

2017年 8月25日 23：00 フェリーとしま鹿児島発
8月26日 6：40 中之島着
舟倉～御池～七ツ山～池原←→御池～サツダ～七ツ山～舟倉
8月27日 舟倉～七ツ山～池原←→御池～舟倉
11：00 フェリーとしま中之島発→
18：45 鹿児島港着
調査は民宿の車を借りて行った。

2. 調査者

守山泰司：鹿児島県立博物館外部協力者，鹿児島昆虫同好会会員

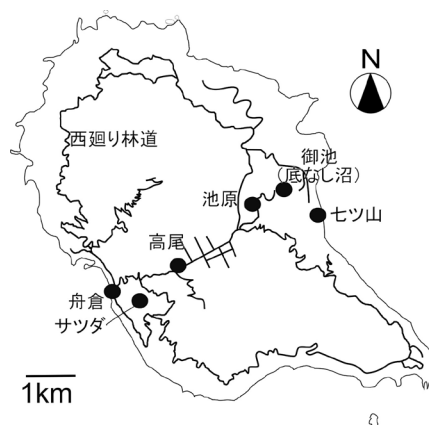


図1. 中之島調査地

3. 調査結果

梅雨期の少雨，梅雨明けから8月初旬まで続いた高温，さらに，その後の台風の接近の影響か，これまでこの時期に訪れた中でもっとも蝶影が薄かった。26日の到着時には晴れ間が広がっていたが，13：30～14：00に小雨が，その後は日差しもなくなった。27日は全く晴れ間が見られず，調査条件としても恵まれたものではなかった。

以下にその結果を種ごとに示す。種名の前に*を付けたものは，注意していたにもかかわらず記録できなかった種である。なお，採集年はすべて2017年，採集者は全て守山泰司なので省略した。

蜻蛉目（トンボ目）ODONATA

イトトンボ科 Agrionidae

- ・アジアイトトンボ *Ischnura asiatica* Brauer, 1865
七ツ山 (1♀ 26. VIII)

1 鹿児島県立博物館：〒892-0853 鹿児島市城山町1-1
2 鹿児島昆虫同好会

・リュウキュウベニイトトンボ
Ceriagrion latericum ryukyuanum Asahina, 1967
御池 (3♂ 27. VIII)

トンボ科 Libellulidae

・オオシオカラトンボ
Orthetrum triangulare melania (Selys, 1883)
七ツ山 (1♂ 1♀ 26. VIII), 御池 (1♂ 26. VIII)

・ホソミシオカラトンボ
Orthetrum luzonicum (Brauer, 1868)
七ツ山 (1♂ 2♀ 26. VIII), 御池 (1♂ 1♀ 27. VIII), 池原 (1♂ 26. VIII)

半翅目 (カメムシ目) HEMIPTERA

セミ科 Cicadidae

・ニイニイゼミ *Platypleura kaempferi* (Fabricius, 1794)
舟倉 (1♀ 27. VIII)

鱗翅目 LEPIDOPTERA

アゲハチョウ科 Papilionidae

・アオスジアゲハ
Graphium doson (C. Felder et R. Felder, 1864)
七ツ山, 御池で見られたが, 少なかった。

・ナガサキアゲハ *Papilio memnon* Linnaeus, 1758
池原～御池で見かけたが, 少なかった。

・モンキアゲハ *Papilio helenus* Linnaeus, 1758
七ツ山 (1♂ 26. VIII), 御池 (1♂ 27. VIII)
各所で見られたが, 少なかった。

・カラスアゲハ
Papilio dehaanii C. Felder et R. Felder, 1864
御池 (1♂ 26. VIII)
七ツ山, 御池で見られたが, 少なかった。

シロチョウ科 Pieridae

・ツマベニチョウ *Hebomoia glaucippe* (Linnaeus, 1758)
七ツ山で少数を見かけたただけであった。ギョボクを探したが, 幼生期も確認できなかった。

シジミチョウ科 Lycaenidae

・ヤマトシジミ *Zizeeria maha* (Kollar, [1844])
七ツ山 (1♂ 1♀ 26. VIII), 池原 (1♂ 26. VIII), 御池 (3♂ 1♀ 26. VIII), サツダ (1♂ 1♀ 27. VIII)
各所のカタバミ群落で普通に見られた。

・アマミウラナシジミ *Nacaduba kurava* (Moore, [1858])
七ツ山で少数を見かけたただけであった。

・クロマダラソテツシジミ

Chilades pandava (Horsfield, [1829])
池原で少数を見かけたただけであった。

タテハチョウ科 Nymphalidae

・テングチョウ *Libythea lepita* Moore, [1858]
七ツ山 (3♀ 26. VIII)
ほかでは見ていない。

・アカタテハ *Vanessa indica* (Herbst, 1794)
池原～御池の路傍のカラムシで中齢幼虫が少なからず見られたが, 成虫は全く見ていない。

・ルリタテハ *Kaniska canace* (Linnaeus, 1763)
御池 (1♂ 26. VIII)
池原～御池で少数を見かけたただけであった。

・イシガケチョウ *Cyrestis thyodamas* Doyère, [1840]
七ツ山で少数を見かけたただけであった。

・ツマグロヒヨウモン *Argyreus hyperbius* (Linnaeus, 1763)
池原～御池で少数を見かけたただけであった。

・リュウキュウアサギマダラ
Ideopsis similis (Linnaeus, 1758)
七ツ山, 池原～御池で見られた。前者のやや薄暗い樹林内では, 細い枯れ枝などに数頭が静止する, 夏眠様の行動をするものが少なからず見られた。

セセリチョウ科 HesperIIDae

・キマダラセセリ *Potanthus flavus* (Murray, 1875)
七ツ山 (1♂ 26. VIII)
2013年に本種♂を多数見かけた地点で (守山・金井, 2014), 8:30から11:40の間観察を行った。9:00ごろまでに樹上で占有行動を示す個体を3頭見かけ, そのうちの1頭を採集した。それ以後は, 全く見かけなかった。やはり, 本種♂は一部のゼフィルスと同じような早朝活動性を持っているのかも知れない。

・クロセセリ
Notocrypta curvifascia (C. Felder et R. Felder, 1862)
御池 (2♂ 27. VIII)
ほかでは見ていない。

*チャバネセセリ *Pelopidas mathias* (Fabricius, 1798)

*イチモンジセセリ
Parnara guttata (Bremer et Grey, 1852)
両種とも, 注意していたが全く見られなかった。

II. 小宝島

1. 調査日程

2017年10月 6日 23:00 フェリーとしま鹿児島発
10月 7日 11:10 小宝島着

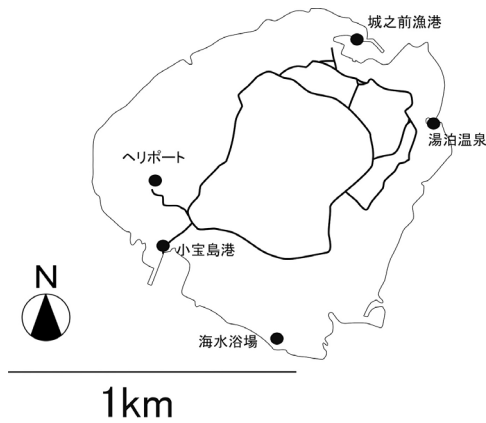


図2. 小宝島調査地

島内を散策しながら採集

10月 8日 島内を採集

10月 9日 6:00 フェリーとしま小宝島発
→ 18:50 鹿児島港着

2. 調査者

金井賢一：鹿児島県立博物館学芸主事

3. 調査結果

調査を行った10月7日～8日にかけて、天候は快晴であり、風もそれほど強くなく、調査には快適な条件であった。

調査は全て徒歩で、捕虫網による見つけ取りで行った。採集地は島内で区別しておらず、全て小宝島として扱ったので省略する。また、採集日は煩雑を避けるために、10月7日と10月8日を同じように扱ったので省略し、採集者も全て金井賢一なので省略する。

蜻蛉目（トンボ目）ODONATA

トンボ科 Libellulidae

- ・スナアカネ *Sympetrum fonscolombi* (Selys, 1840)
1♂1♀

海水浴場付近の草地で見られた。大陸から飛来した偶産種と思われる。

直翅目（バッタ目）ORTHOPTERA

バッタ科 Acrididae

- ・ツチイナゴ *Patanga japonica* (Bolivar, 1898)
1♀
- ・ハネナガイナゴの仲間 *Oxya* sp.
1♂

ハネナガイナゴとタイワンハネナガイナゴの区別ができない。

- ・マダラバッタ *Aiolopus tamulus* (Fabricius, 1798)
1♂
他にも多数見られた。

双翅目（ハエ目）DIPTERA

ミズアブ科 Stratiomyidae

- ・コウカアブ *Pteticus tenebrifer* (Walker, 1849)
1ex.

ムシヒキアブ科 Asilidae

- ・シオヤアブ *Promachus yesonicus* Bigot, 1887
1♀

ハナアブ科 Syrphidae

- ・オオハナアブ *Phytomyia zonata* (Fabricius, 1787)
1ex.
- ・ナガヒラタアブ *Asarkina porcina* (Coquillett, 1898)
1♂

膜翅目（ハチ目）HYMENOPTERA

ツチバチ科 Scoliidae

- ・アカアシハラナガツチバチ
Campsomeris mojiensis ryukyuanus Tsuneki, 1972
2♀
多くの個体が見られた。
- ・アカスジツチバチ
Carinoscolia melanosoma fascinata (Smith, 1873)
1♀
他には見られなかった。

ミツバチ科 Apidae

- ・アマミクマバチ
Xylocopa (Alloxylocopa) amamensis Sonan, 1934
1♂1♀

鱗翅目（チョウ目）LEPIDOPTERA

シロチョウ科 Pieridae

- ・モンキチョウ *Colias erate* (Esper, [1805])
2♀
他には見られなかった。
- ・ナミエシロチョウ *Appias paulina* (Cramer, [1777])
2♂
他には見られなかった。
- ・ウラナミシジミ *Lampides boeticus* (Linnaeus, 1767)

1♂1♀

- ・アミウラナミシジミ *Nacaduba kurava* (Moore, [1858])

1♀

他にも数個体見られた。

- ・ヤマトシジミ *Zizeeria maha* (Kollar, [1844])

5♂5♀

草地や集落周辺に多かった。

- ・クロマダラソテツシジミ

Chilades pandava (Horsfield, [1829])

2♂

タテハチョウ科 *Nymphalidae*

- ・リュウキュウアサギマダラ

Ideopsis similis (Linnaeus, 1758)

1♂

他には見られなかった。

- ・ルリタテハ *Kaniska canace* (Linnaeus, 1763)

2♂1♀

- ・アカタテハ *Vanessa indica* (Herbst, 1794)

1♂

- ・ヒメアカタテハ *Vanessa cardui* (Linnaeus, 1758)

1♀

- ・アオタテハモドキ *Junonia orithya* (Linnaeus, 1758)

1♂1♀

少なかったが、発生しているようであった。

セセリチョウ科 *Hesperiidae*

- ・イチモンジセセリ *Parnara guttata* (Bremer et Grey, 1852)

1♂2♀

チャバナセセリとの個体数比を見ようと、褐色のセセリ類には注意していたが、他には見られなかった。

スズメガ科 *Sphingidae*

- ・ホシホウジャク *Macroglossum pyrrhosticta* Butler, 1875
lex.

シロバナセンダングサに多数の個体が飛来していた。

3. まとめ

前年の9月末に守山が小宝島で行った調査では、アゲハチョウ科2種（アオスジアゲハ、モンキアゲハ）、キチョウの一種、ムラサキツバメ、オジロシジミなどが確認されたが（守山・金井, 2017）、今回の調査では非常に少なかった。アゲハチョウ科は全く観察されず、他のトカラ列島の島々では、同時期に必ず見られていたツマグロヒョウモンも見られなかった。小宝島在住の岩下秀行氏によれば、6月末以降蚊の発生を抑

えるためにエンジン発動機付きの薬剤散布車で殺虫剤を複数回撒くことから、それ以降の昆虫は少なくなるということである。

小宝島ではカラスアゲハが非土着と考えられているが、岩下氏によれば「春先に飛来してカラスザンショウを利用して何回か発生する。しかし、夏以降には見られなくなる」とのことであった。岩下氏は以前鹿児島昆虫同好会に所属し、2000年前後には標本も作製していた。今回、過去野外で採集した雌雄同体の個体を撮影させて頂いた（図3）。未発表個体なので詳しいデータの公開は控える。



図3. 小宝島で採集されたカラスアゲハトカラ亜種の雌雄同体個体（左がオス、右がメス：岩下秀行氏所有）

小さな島では、その地で定着・発生できる種数は限られる傾向がある。小宝島では草地、リュウキュウチクのヤブ、海岸線のアダン群落、集落周辺の植え込みがほとんどで、環境の多様性が低く、様々な昆虫が生息するには難しいと思われる。

しかし、奄美大島などの南方から、あるいは中国大陸などの西方から飛来種が到着する場所として興味深い地でもあり、新たな定着種が生じる過程を見ることができるとも可能性がある。そういう意味では、興味深い地域であり、数年おきにモニタリングすることが必要と感じている。

引用文献

- 守山泰司・金井賢一（2014）2013年8月および9月のトカラ列島中之島のチョウ類－キマダラセセリの再発見－。鹿児島県立博物館研究報告(33)：33-37.
- 守山泰司・金井賢一（2017）トカラ列島口之島、諏訪之瀬島、平島、小宝島、宝島の昆虫（2016年）。鹿児島県立博物館研究報告(36)：1-13.